

夏休み防災未来学校2019 資料室企画のおしらせ

夏休み期間中7/20～9/1は、センター内で楽しいイベントが開催されます。
資料室でも8月に企画をご用意しています。

防災ゲーム 本気あそび2019

8月の毎週木・金曜日は、資料室で防災ゲームの体験ができます。大人気の防災ゲーム「なまずの学校」（NPO法人プラスアーツ発行）で、いっしょに遊んで、防災のことを考えてみましょう。

- 時間 ①10:00～12:00 ②14:00～16:00 所要時間30分
- 対象 小学生～
- 会場 西館5F資料室（無料ゾーン）



謎解き! ひとぼうツアー2019

「ひとぼうの前の石はなに?」「資料はどこで、どんなふうに保存しているの?」そんなギモンにお答えしながら、普段の見学コースにはない収蔵庫へ資料専門員がご案内します。

- 8月3日(土) ①11:00 ②14:00 所要時間60分 ※要予約
- 対象 小学生～
- 会場 西館1Fガイダンスルーム1（無料ゾーン）



Facebookページ開設4周年!

2016年6月からスタートしたひとぼう資料室 Facebook ページですが…おかげさまで、開設から4年が経ちました。いつも見て下さっている皆さん、本当にありがとうございます。これからも資料室から様々な情報を発信できたらと思っています。

こんなことが知りたい! や、資料室にこんなことに取り組んで欲しい! など、様々なアイデアがありましたら、ぜひ教えて下さい! たくさんの方に Facebook の閲覧・資料室も利用していただけるよう、これからも Facebook の更新を頑張っていきます!

* お知らせや日々のできごとを随時更新中!
* みなさんのいいね! お待ちしております。
<https://www.facebook.com/dri.archives/>



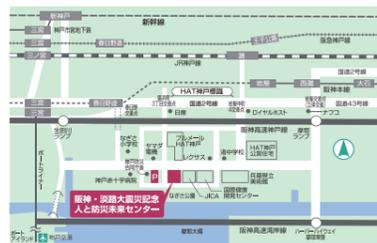
震災資料をお持ちの方に

人と防災未来センターでは、現在も震災資料の収集を続けています。「こんなものでいいのかな?」と、おっしゃる方もなかにはいらっしゃいます。寄贈できるか分からないとお考えの方や、震災後、すぐには手放せなかったものの、震災の出来事を伝えるために活用したいとお考えの方など、悩んだ際には、ぜひ一度、資料室までご相談ください。



(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
阪神・淡路大震災記念
DRI 人と防災未来センター 資料室

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター西館5階
TEL 078-262-5058 FAX 078-262-5062
URL <http://www.dri.ne.jp>
開室時間 9:30～17:30 (展示施設とは時間が異なりますのでご注意ください)
閉室日 毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日の場合は翌平日)
12月29日から1月3日



資料室は無料でご利用いただけます



阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター
DRI The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial
Disaster Reduction and Human Renovation Institution

資料室ニュース

Vol.69
2019年7月発行

震災資料のメッセージ 2019 「1.17と野球」

好評
展示中!

▶ 展示日程
2019年5月28日(火)～11月24日(日)

資料室では、2013年度から当センターに寄贈されている資料のうち、これまで公開されてこなかったモノ資料を中心に、毎年テーマを変えて、西館3階常設展示の一角で展示を行っています。令和元年度前期の展示は、イチローの現役引退にちなんで「1.17と野球」です。

阪神・淡路大震災に見舞われた1995年当時、オリックスブルーウェーブは神戸を本拠地としていました。イチローをはじめとする選手たちは「がんばろう KOBE」を合言葉に、被災者たちを強く勇気づけました。そして、1995年に11年ぶりのパ・リーグ優勝を飾り、翌1996年には日本一へと輝きました。

今回の展示では、オリックス野球クラブから寄贈された、パ・リーグ優勝記念グッズを展示するとともに、1995年のオリックスブルーウェーブのあゆみをまとめた年表パネルで震災当時を振り返ります。

また、西館5階の資料室にてオリックス関連の図書特設コーナーを設けていますので、そちらも併せてご覧ください。



震災資料のメッセージ 2019
1.17と野球

「神戸は特別な街です、僕にとって」
3月21日に現役引退を表明した記者会見で、イチロー選手はこのように語りました。
阪神・淡路大震災に見舞われた1995年当時、オリックスブルーウェーブは神戸を本拠地としていました。イチローをはじめとする選手たちは「がんばろう KOBE」を合言葉に、被災者たちを強く勇気づけました。そして、1995年に11年ぶりのパ・リーグ優勝を飾り、翌1996年には日本一へと輝きました。

"Kobe is a special city, for me," Ichiro said at his retirement press conference on March 21st, 2019.
In 1995, Orix Blue Wave was based in Kobe. The players, under the slogan "Gamboro Kobe," strongly encouraged the survivors. Therefore, they got Central League title for the first time in 11 years. And furthermore, they were the best in Japan, in 1996.

特集

2019

写真が語る25年

2020年1月17日に、阪神・淡路大震災から25年を迎えます。人と防災未来センターが所蔵する写真資料を通して、震災から25年の月日を感じてみませんか？今年度の資料室ニュースでは、特集「写真が語る25年」と題して、所蔵する写真資料をご紹介します。

第1回 震災と安否確認



震災発生時、神戸地域では約30万の加入電話がダイヤルを回しても繋がらない状態になりました。被災地の神戸市周辺には、全国から知人の安否を確かめる電話が殺到し、震災当日の17日には通常ピーク時の50倍もの電話が集中し、混乱に拍車をかけました。

資料番号：0000007-001002

避難所には安否を知らせる貼り紙が掲示されました。



資料番号：0000007-001002



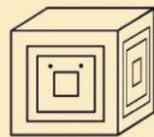
資料番号：4700355-001007

被災地760カ所には、無料で利用することができる特設公衆電話2,700台が設置されました。

災害伝言ダイヤル“171”の開設は阪神・淡路大震災がきっかけ

阪神淡路大震災で電話が不通となり、家族の安否が分からなかったり、特設公衆電話にたくさんの人々が集中したりして、混乱が起きました。この教訓を生かして、災害伝言ダイヤルが開設されました。

参考文献：阪神・淡路大震災復興誌 [第2巻] 1996年度版



新着資料

「震災直後の写真と14年後の写真」 / 矢澤幸一さん

資料提供者の矢澤さん(写真左)は、阪神・淡路大震災当時、消防士として被災地に救援に駆けつけました。今回、寄贈頂いたのは、救援活動を行った1月18～27日の8日間の活動記録の写真です。矢澤さんが救援活動を行った東灘区を中心とした、生々しい被害の様子を記録した71枚です。

矢澤さんは、震災から14年後の2009年にふたたび被災地を訪れました。その時に、かつてと同じ場所を写真に収めました。この33枚の写真からは、被災地の復興の様子をうかがい知ることができます。



一番左の消防隊員が矢澤幸一さん 東灘消防署前(当時)にて



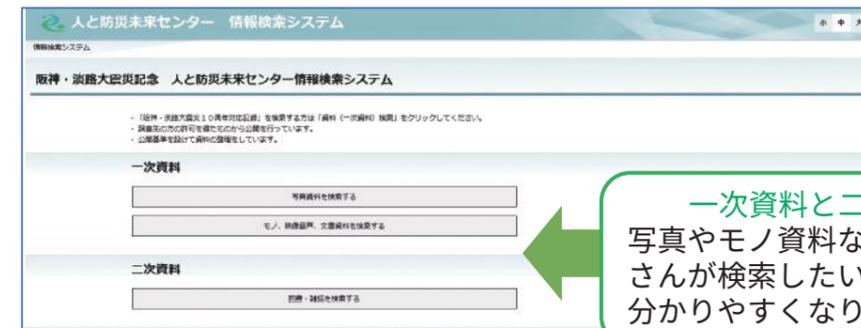
1995年の震災直後の様子と2009年の同じ場所の写真(神戸市東灘区田中町 本山南中学校南側のり面)

資料番号：0000523-001001~002002

情報検索システム変更のお知らせ

この度、2019年5月16日より、人と防災未来センター所蔵資料の情報検索システムが新しくなりました！！

「人と防災未来センター 情報検索システム」で、検索してみよう



これが新しい検索画面ね！

一次資料と二次資料
写真やモノ資料など、利用者さんが検索したい資料分類が、分かりやすくなりました！！



アーカイブちゃん

検索システムのどこが新しくなったんだろう？



資料くん

写真資料

写真がアルバム単位ではなく、1枚ずつ検索できるようになったので、検索しやすくなりました。

資料閲覧希望の方は、お気軽に資料専門員にお尋ねください。

